

GEKKAN ORIMOTO

## 月刊 織本

9月号

2010年9月1日 Vol.193

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘 1-261

Tel 042-491-2121 URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木由利



大賀ハス

## 看取るといふこと

理事長・院長 高木由利



残暑厳しい毎日ですが、夕方になると、虫の声が聞こえてきて秋の到来を感じます。エアコンでよく冷えた室内から見る夕焼けの空と虫の声はひとときの安らぎさえ感じるのです。

\* \* \*

私の外来には不治の病を持った方、ご高齢の方がたくさんいらっしゃいます。私は患者さんと外来で死について語り合うことにしています。日本の慣習の中には、まだまだ死についての会話はタブーという傾向があるようです。でも私は、人間は誰でも一度生まれて、そして死ぬのですから何も恐れることなく、来るべき死の備えは必要だと考えているのです。患者さんもいつか死ぬし、私もいつか死にます。どちらが先かは神様が決めることなので、私は明るくかつ真剣に語ることにしているのです。

私は3年前に父を看取りました。私の父は織本病院の創立者であり、有能な胸部外科医でした。晩年はアルツハイマー病になり、4ヶ月間織本病院に入院し、多くの職員達に囲まれて亡くなったのです。

父の死因は誤嚥性肺炎から発展した多臓器不全でした。脳の障害が進んだため、自分の唾液すら正確に飲

み込むことができなかったのです。父は誰でも晩年に体験する老人性の難聴になり、こちらの話が通じなくて大変でした。しかし不思議なことに亡くなる1週間前より、耳はよく聞こえるようになり、私の病状説明も理解し、自分のレントゲン写真を読影する力も蘇ったのです。

私は父に両側の広範な肺炎でステロイドも抗生剤もしっかり使ったが、自己免疫力が低下しているために治療に反応しない旨を伝えました。父は静かに“分かった。お前の治療法は正しい。そのレントゲンでは俺はそんなには持たない。近々、死ぬだろう。お前もそう思うか？”と問いかけてきました。私は“おそらく1週間以内に・・・” “そうか。分かった。ありがとう。”これが父と一番長く交わした会話でした。父は延命治療は一切望まず、自分の造った最愛の病院で死にたい、皆できちんと、そして静かに看取ってほしいという願いでした。私は父の希望通りに看取ったと思っています。人は皆、どこで死にたいか、どうしてほしいか、死についてしっかり準備していれば、あわてることなく、その日を迎えられることを知りました。

私の患者さんの中には私に看取ってほしいと願って

下さる方が何人かいらっしゃいます。ありがたいことです。人生の最後の時をしっかりと受けとめて看取って

差し上げたいし、私も自分の死の時を大切に考えていきたいのです。

## テニスとバイクとマニュアル車 ③

消化器内科 岡田 仁史



勿論、車（四輪車）は大好きである。21歳で田舎の教習所に通い、無事免許取得となった。

教習所通いの初日、教官は“無免許運転をしたことがあるか？”と問う。“はい”と答えると、“じゃ、運転してみろ”と言う。どうも、初日はロー（1速）、セカンド（2速）位までの使用を想定しているらしい。私は勝手にトップ（4速）まで使用し奔った。教習終了後、教官は“相当、無免許やってたな！”と。“はい”と答え終了。教習料金、1時間1600円の頃の話である。路上教習に至って、時は夏、田舎の教習車にはクーラーなるものが付いていなかった。暑い！教習者も暑い、教官も熱い。“もっと、スピードを出せ！”と言う。50km制限のところを、60～70kmは出ていたと思う。ネズミ捕り（速度取締り）を通過した。私は焦った。二度と車の免許は取れないと。しかし、何のおお咎めもなく、普通自動車免許を取得した。

私は、車やバイクの運転が好きである。別に旅に出る必要はなく、自宅周辺を乗り回すだけで楽しい。彼らを操作するのが好きなのである。当然、車はマニュアル車のはずであったが、20年ほど前、自分が乗りたい車にマニュアルがなくなってしまった。それ以来、オートマチック車を利用していた。結局それがバイクの免許を取る衝動を掻き立てるのだが。オートマチック車は人間がコントロールし切れない危うさを感じる。止める方法が、一方的にブレーキ操作にかかわる。ブレーキだけで止まるのか？という怖さを感じる。オートマチック初期には、ブレーキを踏んでも踏んでも止まらないという夢を見た。歯を食い縛り、歯がぼろぼろと碎ける嫌な夢である。信じられないかもしれないが、この風体でも私は結構ナイーブなのだ。

20年も墮落したオートマチック生活をしてきた私がマニュアルに戻れるか、ドキドキした。マニュアル車に試乗する機会にめぐり合い、ドキドキのままスタ

ート。乗れるじゃん！これまた、高校、大学くらいに戻った興奮であった。

マニュアル車を手に入れ、走り始めて気づいた。ストレスがない！バイクに乗り始めた時感じた、自分の周りがガードされていない危険。当然ストレスになると考えていた。ところがストレスはなかった。危険は承知の上で、それを感じない。不思議な感覚。教習所で壁に激突した時、いや、急なカーブや苦手のパイロンスラロームで味わった恐怖！バイクに乗り感じた、ストレスのなさ。それがマニュアル車にはあった。バイクもマニュアル車も四肢を使う。私の脳はバランスが取れたと感ずるのだろう。

こうして、現在はマニュアル車を楽しんでいる。自分で車をコントロールしている、実に楽しい。マニュアルが不便って誰が言った！そんな奴は車を運転するな！！なんてね。

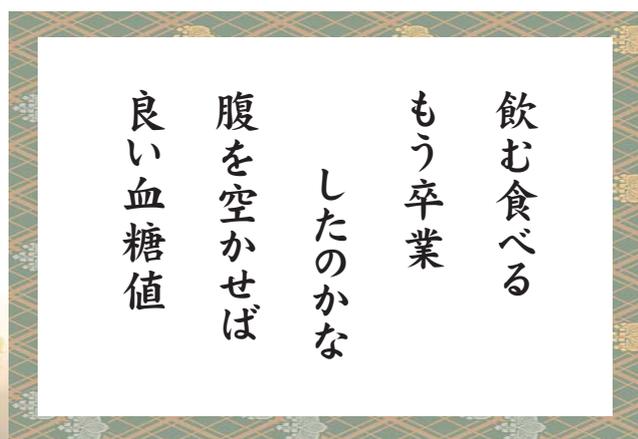
先日の朝、重いバイクを引っ張り出す私を、近所に住む8歳年下のテニス仲間を見つけ、“この、オヤジどうかしてる…”とでもいう顔で、頭を2、3回振った。

そのままスタートした私は、途中で彼の顔を思い出した。“やったね！おれ、青春じゃん！！”



## 作品介绍

川上眞仁さんから頂いた短歌を紹介します。  
川上さんは毎月外来受診をされている患者様です。お仕事をリタイヤされて、ご自分の食事管理を真剣にする毎日。  
まさに本気で闘病生活を実践していらっしやるステキな方です。



THE Vol.51  
病理診断

## 『豊かな人間関係のカギ』

聖マリアンナ医科大学 診断病理学教室教授  
高木 正之 先生



以前、私には尊敬できない上司がいました。その人は大酒飲みで権力欲が強く、人の意見は聞きません。私とは価値観が全く違いました。私にはどうしても彼を尊敬できませんでした。私は彼に対して表面上は敬う態度をとりましたが、心の中では軽蔑していました。毎日職場で一緒に仕事をする人に対してこのような思いを抱いていると、自分を偽っているようでストレスになっていました。

ある時、聖書を読んでいて「何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりも優れた者と思いなさい。自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。」という言葉に出会いました。聖書は不思議なことを言う本です。私たちが、全ての人を自分よりも優れていると思うことは不可能だと思うからです。私の上司のような人間を敬うことはとても難しいことです。しかし、私はどうしたら上司を敬うことができるのだろうかと考えました。その時ふと、私の心に浮かんだことは、「彼が今の立場で重要な仕事をしているのは、私には無い何か優れたものを持っているからだろう。」ということです。彼には、行動力、決断力があるのです。私はその点に注目し始めたら、少しずつ彼を敬う気持ちが出てきました。彼を尊敬できるようになると、その気持ちが伝わり良い人間関係になりました。

「理解する」は、英語で understand です。under は下、stand は立つですから、自分が相手の下に立って、その人を見上げると初めてその人を理解することができるのです。相手の下に立つと、その人の良い点が見えてきて尊敬の念を持って接することができます。

「へりくだって、互いに自分よりも優れた者と思いなさい。」 Understand が、豊かな人間関係のカギです。

# 肛門科 だより

当院の肛門科では、女医の高木由利院長と女性スタッフによる診療を行っておりますので男性医師によるおしりの診察に抵抗のある女性の患者様も安心して受診していただけます。

診療日 / 火曜日（午前）・第4土曜日（午前）

予約制 / TEL:042-491-2121

スキントッグとは、外痔核・かんとん痔核の保存的治療後や頻回に起こる肛門周囲の皮膚炎、頻回の出産、痔核手術後など様々な原因で起こる、肛門の出口周囲にできる皮膚のたわみのことです。スキントッグは日常診療でよく見かけますが、病的意義がないと判断され軽視される場合が非常に多いのです。しかし、患者様にとっては肛門の強い不快感に繋がることを忘れてはいけません。当院ではこのスキントッグを1つの疾患としてとらえ、その治療に対し『肛門美容形成』という考え方を取り入れ、美しい肛門を再現するための外科的治療を行っています。肛門をどのようにデザイン、リメイクするか。その最終目標は『生まれたての赤ちゃんの肛門』のような美しい肛門です。



## スキントッグの治療 肛門美容形成

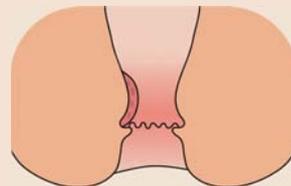
切らずに治す痔の治療法

## ジオン注治療

当院では脱出を伴う内痔核（排便時に出てくる、あるいは普段から出たままになっているようないぼ痔）の注射による治療「ジオン注」を行っております。痔核を切り取る手術と違って、痔核の痛みを感じない部分に注射するので、「傷口から出血する」「傷口が傷む」というようなことはなく、短期間の入院で治療が可能です。「ジオン注治療」は認定された専門医のみが行うことができる治療法です。ご希望の患者様は当院までお気軽にご相談ください。



ジオン注を投与すると早い時期に痔核へ流れ込む血液の量が減り出血が止まります。脱出の程度も軽くなります。



投与した部分が次第に小さくなり、1週間から1ヶ月ほどで引き伸ばされていた支持組織が元の位置に癒着・固定して、脱出がみられなくなります。また、肛門のまわりの腫れもなくなります。

### 第114回 腎疾患ゼミナール

#### 『腎不全を理解しよう!! ⑧』

～検査データに変化が出たとき その8～』

リハビリテーションセンターからのワンポイントアドバイス

『低体温を改善して免疫力を上げよう!!』 理学療法士：窪田 眞一

腎臓内科：高木由利

日時：2010年9月9日(木)

午後1:00～

会場：オリモトホール(当院4F)

参加費：無料

※9月の腎疾患ゼミナールは9/16(木)から9/9(木)に変更となりました。